

真宗大谷派 草加松原開教所 浄心寺 寺報

もとみち

第 5 号

第一子の誕生

今まで大変ご心配をお掛けいたしましたがおかげ様で昨年の十一月の末に子供が産まれました。母子ともに元気です。皆さまへの感謝とご報告をさせて頂きま



す。女の子です。初めての子供ですが、お父さんは四十を過ぎた立派な大人ですから見聞きしてきた豊富な知識があります。子供への対処にも困ることはなからうと、ある程度は



被災地の桜(平成 23 年撮影)

自信があつたのです…が。

まず分娩室の緊張感。次に坊守(お寺の奥さん)の必死な姿と声。そして赤ちゃんの触れただけで壊れてしまいそうな弱々しい姿。その姿からは想像も出来ない力強い泣き声に…

見事ノックアウトされてしまいました。

半端な自信は木っ端みじんに吹き飛んで、病室を意味も無く出たり入ったり、ただオロオロする情けない住職なのでした。

(親子の近況は次号以降にもお知らせいたします。)

子供の誕生とは神秘的で神聖な体験ですね。無宗教の方でもこのときばかりは神仏な世界を思うのではないのでしょうか。人として、人生の根源的な神聖さに触れられる本当に貴重な体験です。

それに比べれば人生のその他の事柄は全て影を潜めてしまいます。

自分の幼い頃の体験や、両親との関係など、様々な想いが次々に湧き上がり思い起こされて、奇跡の瞬間に立ち会うことが出来て本当に良かったと思っています。

いま家族が増えて新しい生活がはじまり毎日笑顔で過ごしています。

しかし、これはまだほんの始まりにすぎません。子供が成長する過程ではさまざまな困難もあるのでしょうか。不安もあります。が二人で頑張ろうと思えます。



ついこの間までは一生独身かな…とも思っておりましたが、ご縁の不思議で家族を持つ身となりました。本当に有難うございます。まだまだ未熟です。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

お寺の行事予定

お彼岸

お中日にお参り下さい。順番にお勤めいたします。

お盆法要

8/5 (日) 午後1時より

「楽しくなければお寺じやない」がキャッチフレーズの講師より、お盆の法話を分り易く聞かせていただきます。(昨年来て頂いた好評の先生です。)

報恩講

12/9 (日) 午後1時より

浄土真宗の門徒にとつて一年で一番大切な法要です。浄土真宗のお寺の目的はこの法要にあるのです。普段お参りされない方もこの法要は是非ご参加ください。詳しくはまたお知らせします。

『あおいくま』
〜有る家庭の標語〜

あせるな
おこるな
いばるな
くさるな
まけるな

平成 23 年 12 月

「浄心寺報恩講」報告

当日は 36 名のご参加をいただきました。元教師で笑い療法士でもある先生の法話では、歌あり(生演奏)笑いありと盛り沢山でした。仏教の教えもたいへん分りやすく学ぶことが出来て感動的だったと多くの好評を頂きました。

住職がお寺を建てた理由は(まだ未完成ですけど)ひとえにこの報恩講をする為です。一人でも多くの方が仏様のみ教えに出逢っていただけるように「楽しい美味しい嬉しい」法座をめざして頑張ります。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

さびしい時

わたしがさびしいときに

よそのひとはしららないの

わたしがさびしいときに

お友だちは笑うの

わたしがさびしいときに

お母さんはやさしいの

わたしがさびしいときに

ほとけさまはさびしいの



金子みすゞ

浄土真宗のことを知りた
いならご門徒(信者さん)の
心の内が分ると理解が早い
と思います。住職の好きな童
謡詩人の「金子みすゞ」さん
の詩には浄土真宗の法儀が
あふれています。お前は一人
ではないんだよ、わたしがつ
いていきますよ、という仏さま
のはたらきをうたわれた詩
です。

わたしの気持ちというのは
なかなか人には分かつては
もらえません。

わたしがさびしいと思つて
いるとき、よその人は全く気
付きもしない、またお友だち
は笑っているかもしれない、
親は何かを察し、やさしく接
してくれる。しかし、仏さま
はわたしの気持ちそのまま
を受け止めてくださり「さみ
しいね、かなしいね」と、い
つでもどこでも寄り添って
くださいます。

平成 24 年 1 月

「修正会」(元旦法要)

本年は3日に勤修いたしま
した。修正会(しゅしようえ)

は年頭に思いを新たに
正しきを修めるとい
う意味で勤められます。
年のはじめに身を正し、思い
を新たにしてお念仏のみ教
えを喜ばせていただくこと
が生活の原点であることを、
改めて確かめる法要です。

平成 24 年 2 月

「開教者会報恩講」報告

住職が所属している「首都
圏大谷派開教者会」主催の
報恩講。インフルエンザで
住職は欠席(泣)、10名
の門徒さまが参拝に行つ
てきました。大きな講堂で
の一同唱和の読経に感動。
東北民謡団の迫力ある演
奏と歌唱はすばらしく皆
さん元気をもらったと喜
んでおられました。



真宗会館の前でパチリ

出産祝い

長女の出生に

際してはお祝いを頂戴し御
礼申し上げます。小さく可愛
い色鮮やかな衣服や玩具で
家の中が明るくなりました。

編集後記

東日本大震災から1年。
何度か被災地を巡り自分なり
に募金や傾聴活動に関わつて
きました。復興はまだまだ、
遥かに先のことのようにです。

よく報道された「義援金」は
本来「義捐金」と書きます。
布施のことを「喜捨」ともい
うように捐の文字も捨てる
という意味です。自らの利害を
捨てて私財をなげうつ覚悟で
人道や公共のために尽くすこ
とが布施であり、喜捨、義捐
に当たると言ふことなのでし
ようが、なかなかその境地に
は達せないことを、今回の災
害において気付かされました。
お恥ずかしい限りです。まだ
1年です。この先もずっと関
心を寄せていかなければなり
ません。

合掌 住職

阿弥陀山 浄心寺

〒340-0011

埼玉県草加市栄町二九二六

☎048(951)7367

http://jyosinji.web.fc2.com